

# 「阿波ふうど情報」 (vol.36)

発行：とくしまブランド推進機構

連絡先：電話 088-624-7362 / ファックス 088-624-8751

住所：徳島市北佐古1番町5-12 JA会館8階

http://www.tokushima-kousha.jp/brand/



阿波ふうど  
AWA FOOD

新年明けましておめでとうございます。  
平成30年も引き続き、とくしまブランド推進機構への御支援、御協力を、よろしくお願い申し上げます。

## 「生産振興対策」情報

「ほうれんそう被覆栽培」で生育が促進しました。

本県の主力品目であるほうれんそうは、9月頃から本格的に播種作業が開始されますが、最近この時期の”秋雨”によって、播種作業の遅れや生育に影響が出ています。

平成29年9月～11月の気象データでは、降雨日数が30日で、雨量10mm以上日数が14日あり、ほうれんそう出荷量にも影響を与えました。

そこで、徳島農業支援センターとJA徳島市の協力で、ほうれんそうの生育促進を目的とした有孔被覆資材「ユーラックカンキ」を使った実証展示圃の結果について報告します。



被覆栽培の状況

○農家名：大寺さん(徳島市国府町)、品種：「フロースト」  
播種日10月5日、被覆期間11月29日から(17日間)、調査日12月15日

区分	草丈(cm)	株重(g)	10a収量	商品化率
ユーラック被覆区	19.3	17.3	644kg	71.7%
ポリ被覆区	18.9	17.4	445kg	62.2%
対象(無被覆)区	16.0	12.9	26kg	31.5%

☆農家の意見「生育は約10日早く」、「収量・品質も良かった。」



ユーラック被覆区



対象(無被覆)区

今作のほうれんそう産地では、実証展示圃以外にも「被覆したほうれんそう圃場」が散見されました。

「ユーラックカンキを使った被覆栽培」は、気象災害を軽減する栽培技術の一つとして定着すると思われます。

## トンネルにんじん圃場で”排水対策”を徹底していました！

高品質なにんじん生産を行うには圃場条件の改善が重要となっています。

にんじん栽培においても播種時期(11～12月)の降雨はもとより、生育期間中の排水対策がポイントとなっています。

板野町内のトンネルにんじん圃場で、良品生産のために重要な排水対策を徹底している圃場が見られました。

仕組みは、水を集める穴(約1m四方×深さ約0.8m)と、排水用ポンプを設置して、大雨に備えていました。



排水対策の状況

JA担当者の声：にんじん栽培では排水対策は必須で、理想的な対応と考えています！

## 「とくしまブランド推進機構」

愛称：地域商社 阿波ふうど

☆阿波ふうど

「AWA FOOD」とは？

「阿波(徳島)の風土に育まれた幸をもたらす」

ということを表現



「とくしまブランド推進機構」は、「農家所得の向上」と「農業生産の拡大」を目的に、マーケットイン型の生産・流通・販売を総合的に推進するため、徳島県・県農業開発公社・JA徳島中央会・JA全農とくしまの4者が創設した組織です。